

第56回中小企業団体三重県大会を開催



佐久間会長

10月10日、津市・アスト津「アストホール」において、「つながる ひろげる 連携の架け橋」をキヤッチフレーズに、多数の来賓ご臨席のもと、第56回中小企業団体三重県大会を開催し、県下中小企業団体の代表者等約220人が参加しました。

開会にあたり、主催者を代表して佐久間裕之会長が、「中小企業と組合の支援のため、ニーズに応じた多様な支援活動に加え、中小企業連携組織を通じた地域経済活性化に対する支援を実施していく所存であります。本大

会の決議と成果をぜひ今後の国・県・市・町の施策に反映させていただきたい。」とあいさつしました。

続いて、中部経済産業局 瀬賀和也産業部次長、三重県 村上亘雇用経済部長、三重県議会 東豊戦略企画雇用経済常任委員会委員長、商工組合中央金庫 青木隆幸津支店長よりご祝辞をいただきました。



中部経済産業局
瀬賀産業部次長



三重県
村上雇用経済部長

その後議事に入り、三林憲忠副会長が議長に選任され、「総合・組織」「金融」「税制」「商業・流通」「労働」「工業」の各専門委員会委員長・副委員長から要望事項の説明が行われ、「中小企業施策の推進並びに予算の充実・強化」など全44項目が満場一致で採択されました。さらに、小柴眞治副会長から大会宣言が力強く朗読されました。



三重県議会東委員長



商工中金
青木津支店長

続いて表彰式が行われ、三重県知事表彰として優良組合2組合、組合功労者5名、三重県中小企業団体中央会会長表彰として優良組合5組合、組合功労者44名、優良職員22名、特別顕彰1名が受賞されました。

知事表彰を受賞された組合及び功労者の方々は、次のとおりです。(順不同・敬称略)

- 優良組合 三重県衣料縫製工業組合、三重県テントシート工業組合
- 組合功労者 岡幸男(三重県菓子工業組合 理事長)、橋本利一(下野工場団地協同組合前理事長)、服部茂樹(三重県古紙卸協同組合 理事長)、増地良之(三重県漬物協同組合前理事長)、丸山治(三重県伊賀トラック事業協同組合 理事長)



議長 三林副会長

大会スローガン

- ・中小企業連携組織対策の充実・強化
- ・観光振興のための入込客受入れ態勢整備
- ・にぎわいのあるまちづくり支援と地域商業活性化対策の強化
- ・中小企業の円滑な事業承継推進への支援策拡充

～主な大会決議項目～

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| ・中小企業施策の推進並びに予算の充実・強化 | ・消費税対策の継続・強化 |
| ・観光客増加のための環境整備 | ・交通渋滞解消のための早急な道路整備の推進 |
| ・官公需適格組合及び地元中小企業に対する官公需施策の拡充・強化 | ・育児支援策の充実・強化 |
| ・中小企業組合制度の改善 | ・働き方改革推進に向けた支援策の充実 |
| ・経営者保証ガイドラインに基づく融資の推進 | ・海外展開に対する支援の拡充 |
| ・中小企業組合及び中小企業関係税制の充実・見直し | ・ものづくり等の推進に係る補助金の当初予算化額の増額等 ほか |



第71回中小企業団体全国大会が盛大に開催



11月7日、鹿児島県鹿児島市「鹿児島アリーナ」において、第71回中小企業団体全国大会（主催：全国中小企業団体中央会・鹿児島県中小企業団体中央会）が開催され、中野洋昌経済産業大臣政務官をはじめ多数の来賓のご臨席のもと、本県からは31名が参加し、全国より約3,000名が参集しました。

本大会の議事では、「中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充」、「中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充」「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」等26項目を決議しました。また、大会の意義を内外に表明するとともに、決議事項の実現を国等に強く求める「大会宣言」が高らかに宣言され、満場の拍手の下、採択されました。

続いて表彰式では、優良組合34組合、組合功労者86名、中央会優秀専従者22名の表彰が行われました。本県からは、組合功労者として萩野昌毅氏（三重県熔接工業協同組合 理事長）と宮木康光氏（協同組合津卸商業センター 理事長）が受賞しました。

来年の第72回中小企業団体全国大会は、令和2年10月22日に茨城県で開催される予定です。



鈴木知事へ要望書を提出



12月13日、佐久間会長をはじめとする理事全員で組織する決議実行委員20名が、鈴木英敬三重県知事へ要望書を提出しました。

佐久間会長が、10月10日に開催した第56回中小企業団体三重県大会で決議された44項目のうち、特に重点項目として、中小企業施策の推進並びに予算の充実・強化、観光客増加のための環境設備、官公需適格組合及び地元中小企業に対する官公需施策の拡充・強化、中小企業組合を活用した後継者育成強化などについて要望しました。

市長会へ要望書を提出

10月25日、三重県市長会（会長 櫻井義之・亀山市長）に対し、第56回中小企業団体三重県大会で決議された要望事項のうち、「市」向け9項目の要望書を提出し、県内中小企業の厳しい現状を踏まえた要望の実現に向け強力な支援を要請しました。

主な要望事項は、次のとおりです。

「官公需適格組合及び地元中小企業に対する官公需施策の拡充・強化」「三重の木の需要拡大支援策の継続・拡充等」「地籍調査の迅速な推進」「中小企業組合向け省エネ補助制度の創設」「指定管理者制度の改善」「商店街活性化への支援」「ものづくり技術を支える人材育成・確保の推進」



地域別懇談会を開催



9月20日、伊勢市で県内各地域の経済情勢や組合の現状及び国・県等への提言、要望等把握する「地域別懇談会」を開催し、佐久間会長及び別所参事ほか職員が、伊勢志摩地域の組合理事長等役職員の方々と意見交換を行いました。

まず、本会の助成事業及び補助金等の情報提供、株式会社ゴーリキの強力取締役会長よりものづくり補助金の取組みについての説明を行ったあと、懇談に入り、人手不足、後継者不足、組合員の減少など中小企業及び中小企業組合が直面している様々な課題・意見をお伺いしました。佐久間会長からは、皆さんのご意見を今後の中央会の活動に活かしたいと話しました。

情報連絡員会議を開催

9月25日、津市で令和元年度情報連絡員会議を開催しました。

まず、「消費税軽減税率制度について」をテーマに、津税務署法人課税第一部門上席国税調査官柳瀬雅徳氏より、実例をあげながら消費税軽減税率制度について説明があり、また、現行の請求書等保存方式から変更となる区分記載請求書等保存方式、さらに、令和5年10月から導入される適格請求書等保存方式(インボイス制度)についての講話がありました。次に、「令和元年度上半期における各業界の景況について」をテーマに、各種施策活用や業界の景況、中小企業の課題等について情報交換が行われ、発表される報告に各連絡員とも熱心に耳を傾けていました。



BCP策定推進講習会を開催



10月24日、津市で組合等の役職員及び組合員等を対象にBCP策定推進講習会を開催しました。

「事業継続力強化計画について」をテーマに中部経済産業局産業部次長瀬賀和也氏より、中小企業強靭化法の概要から中小企業の防災・減災対策の強化及び支援体制の強化や、事業継続力強化計画の策定方法について具体例を挙げ説明がありました。

また、「過去の事例から学ぶBCPのポイント」をテーマにMS&ADインターリスク総研株式会社リスクマネジメント第四部事業継続マネジメント第一グループコンサルタント佐藤真美氏より「災害や事故など組織全体の操業度が著しく低下し、復旧まで係る局面において重要な業務が中断しないため、また中断した場合に早期に再開するため事業継続計画が必要である」旨話があり、三重県におけるBCP整備の必要性について三重県のハザードMAPを資料に詳しい説明がありました。



ものづくり補助金「成果事例発表会」を開催



11月27日、津市で平成24年度補正から平成29年度補正「ものづくり補助金」の成果について広く発表し、商談機会の提供等を通じ、補助事業者の販路拡大等、事業化段階の向上を図ることへの支援を目的とした「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業(フォローアップ事業)」及び「平成30年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」成果事例発表会を開催しました。

発表会では、まず政策研究大学院大学名誉教授・客員教授 橋本久義氏による『インダストリー4.0』を日本の中小企業が使い倒すをテーマにしたセミナーを開催し、続いて、ものづくり補助金を利用し、試作開発・設備投資を行った事業者の方々から、取り組みの経緯や成果、今後の展望などにつき事例発表とパネルディスカッションを行いました。

また、ものづくり補助金成果事例展示会にも多くの来場者があり商談コーナーでは、出展企業25社と商談を行う姿が見られました。